

◇論文紹介

越前朝倉氏と但馬 宿南 保

『地方史研究』一七六号 一九八二・四

著者宿南氏は、同氏が最近見ることが出きた二つの系図、「桜井八木系図」と「粟鹿社系図」により、高前から広景に至る越前朝倉家の系譜を

高 清 — 安 高 — 高 吉 — 高 実 — 高 景 — 高 資 —

— 広 信 — 広 景

とされた。これは従来『朝倉始末記』の系図で知られている系譜

高 清 — 高 景 — 広 景 または 高 清 — 安 高 —

信高―家信―信泰―茂秀―宗直―広景
と異なる。

『朝倉始末記』の系図が、高清から広景までただ一直線に記すのみで、兄弟などの傍系についてはまったく記載がないのに対し、八木及び粟鹿両系図は、傍流まで詳しく記しており、かつ系図上の氏名が『但馬国太田文』に出現している日下部一門の豪族名と一致していることが、この両系図の信頼度を高めている。

(杉原丈夫)